

6. 新庁舎の機能

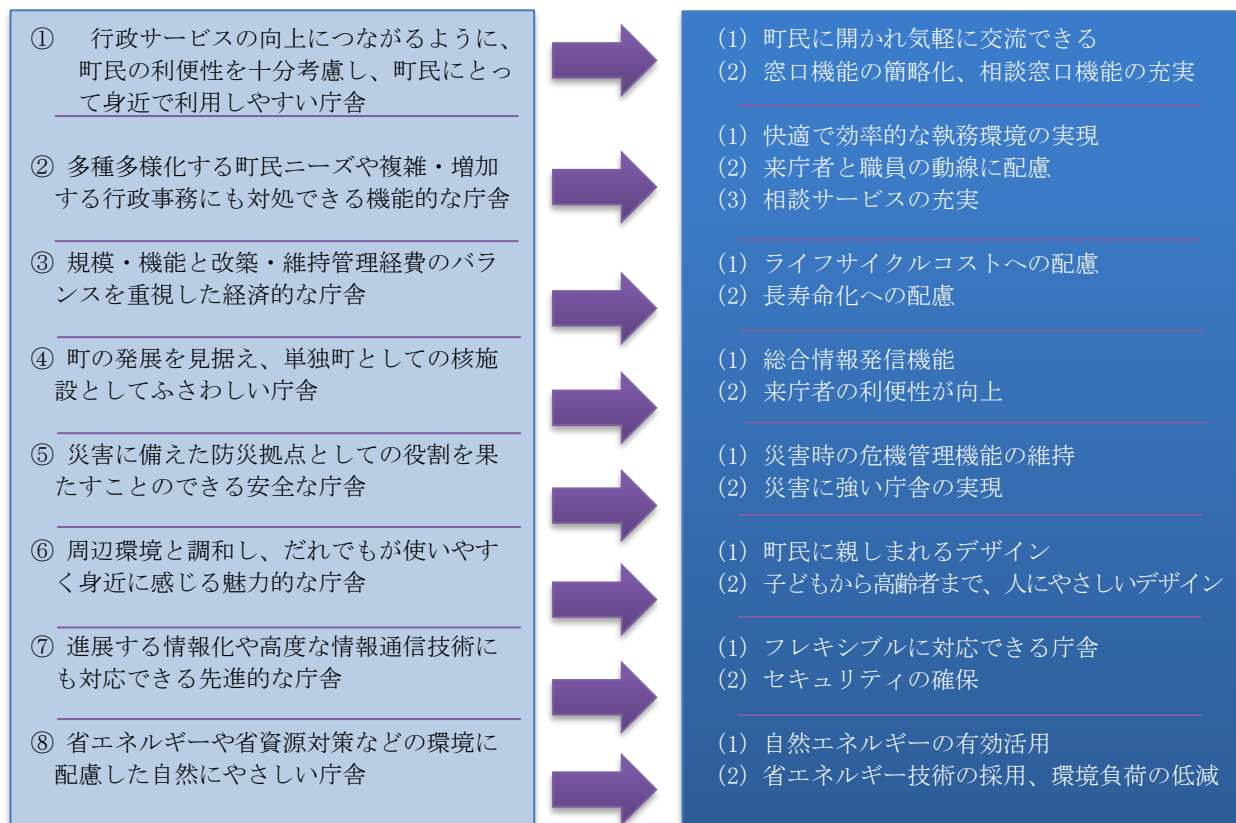
(1) 導入機能の構成

新庁舎整備に係る基本理念・基本方針を定め、これに基づく基本機能を示します。

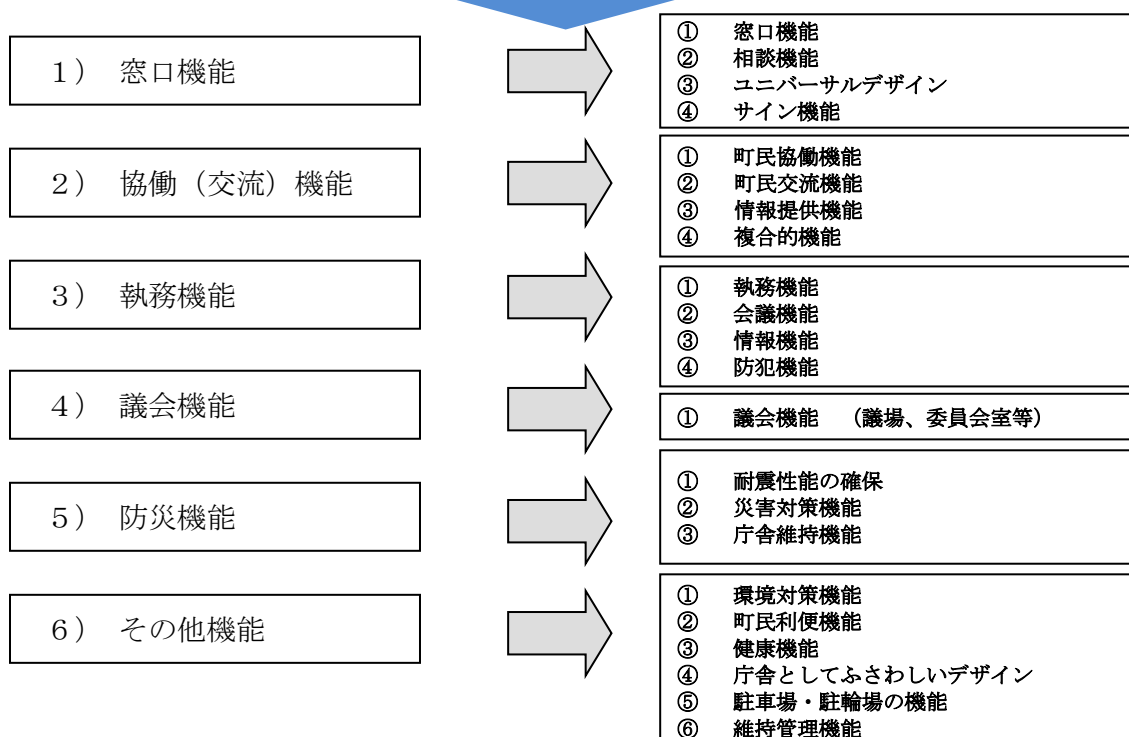
基本理念「**広川の未来を描く みんなの庁舎**」

庁舎の基本的な考え方

具体的な考え方

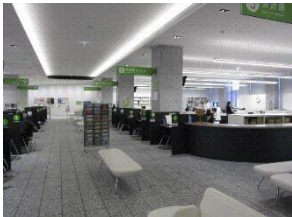


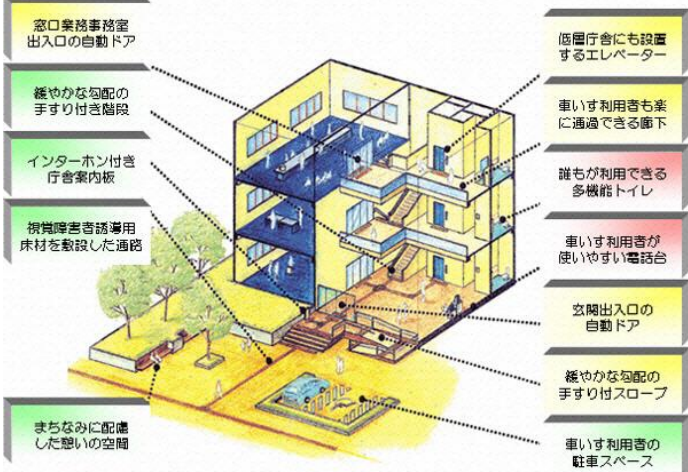
基本理念、基本機能を踏まえ、次の機能を備えた新庁舎の実現をめざします。



(2) 導入機能

① 窓口機能

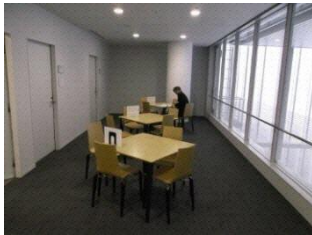
導入する機能	整備方針	具体的な導入機能（導入イメージ）
① 窓口機能	全ての人に分かりやすく利用しやすい窓口空間とする。	- 各部署にまたがる様々な手続きを一箇所で済ませることができる総合窓口（案内）の設置を検討し、設置する場合には、わかりやすい場所とする。 - ライフイベントに関連する手続きの担当窓口を隣接して配置するなど、出来る限りのワンフロア（ワンストップ）サービスが実現できる窓口空間を整備する。 - 自動証明書発行（証明書等の機械化）に対応できるスペース等を確保する。  窓口フロア（小牧市）  総合窓口（つくば市）  窓口フロア（黒部市）  窓口モニター（海老名市）
② 相談機能	利用者のプライバシーの保護に配慮した相談（窓口）空間とする。	- 個別の相談内容に応じ、プライバシーに配慮した窓口カウンター、相談コーナー、相談室を設置するなど相談機能を充実する。 - 利用者の相談内容に応じて、相談しやすいローカウンター・ハイカウンターを適正に配置する。  市民相談室（立川市）  プライバシーに配慮した 窓口カウンター（つくば市）

導入する機能	整備方針	具体的な導入機能（導入イメージ）
③ユニバーサルデザイン	庁舎内の完全バリアフリー化を実現する。	・エレベーターや階段手摺の設置、通路幅の確保など車いす利用者はもとより誰もが安心して移動できる空間を実現する。 ・車いすに対応したカウンターや記載台を適正に配置する。 ・多目的（多機能）トイレ等を設置する。 ・授乳スペース・キッズスペース等を設置する。 ・利用者の動線通路は待合スペースと重複しないよう検討する。  バリアフリー庁舎のイメージ（国土交通省中部地方整備局）  キッズスペース（つくば市）  記載台（つくば市）
④サイン機能	誰にでも分かりやすいサイン（案内表示）とする。	・案内表示は、子どもから高齢者まで誰もが見やすい表示に統一する。 ・利用者の目的に応じてスムーズに案内できるサインとする。  総合案内サイン（長岡市）  庁内サイン（半田市）

② 協働（交流）機能

導入する機能	整備方針	具体的な導入機能（導入イメージ）
① 町民協働機能	町民が多目的に利用できる空間を整備する。	・ 来庁者が落ち着きとゆとりを感じることができるように、多目的な用途に利用できるスペースの設置を検討する。 ・ 町民が制作した作品等を展示できるスペースの設置を検討する。  多目的ロビー（立川市）
② 町民交流機能	町民の交流やにぎわいの生まれる空間を整備する。	・ 庁舎の屋上やベランダなどを活用した町民の憩いの場の整備を検討する。 ・ 町民の健康増進やスポーツ活動を通して交流ができるスポーツ活動（総合型スポーツクラブ）の拠点施設の整備を検討する。 ・ 選挙や確定申告等にも使用でき、それ以外では災害対策、防災訓練、町民の文化活動、軽スポーツなど多目的に活用できるホール・会議室の設置を検討する。  交流スペース（小牧市）  ラウンジ（白石町）
③ 情報提供機能	利便性の高い情報提供が可能な空間を整備する。	・ 町政、町民活動地域や観光に関する情報、資料などを閲覧、情報提供できる場を整備する。 ・ ポスター・町の情報等を集約して掲示できるスペース等の設置を検討する。  市政情報コーナー（つくば市）  市政情報コーナー（小牧市）
④ 複合的機能	協働（交流）機能については、他機能と複合的に整備する。	・ 町民協働、交流機能及び情報提供機能については、既存施設の機能との重複を避けた空間整備を行い、それぞれの機能についても効果的・効率的な整備を行う。また、複合的に利用できる空間を整備する。

③ 執務機能

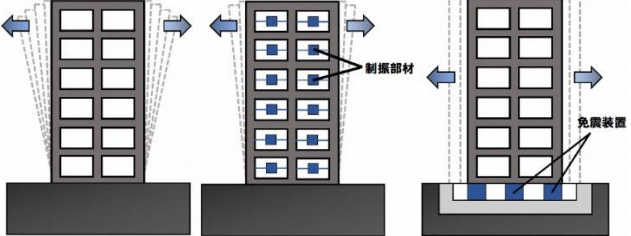
導入する機能	整備方針	具体的な導入機能（導入イメージ）
① 執務機能	快適で効率的な執務空間を実現する。	- 各課や職員のコミュニケーションが図られ、住民ニーズへの対応や将来の機構改革による配置変更が容易なオープンフロアとする。 - 職員が効率的に業務を行うことができ、住民のニーズや組織の変化に柔軟に対応できる執務スペースのレイアウト、機器の配置とする。 - 文書管理に関し、保存期間を見直し、文書の電子化、適切な書庫の配置など、整理された執務空間とする。 - 職員の多様な働き方に対応できるユニバーサルデザインの考え方を導入する。 - 業務の関わりが強い課を近くに配置することで、住民の移動の負担や職員の移動の負担を軽減し、効率的な行政サービスができるような課の配置を検討する。 - 特に、夏季・冬季の時間外勤務において効率的、経済的に業務ができる執務空間を検討する。   執務空間（青梅市） ユニバーサルプラン（青梅市）
② 会議機能	多目的に活用できる会議室を整備し、打合せスペースを充実する。	- 目的に合わせた大小の会議室を整備し、必要に応じて広さを変更できるように、間仕切りを導入する。 - 職員同士の簡易なミーティングを行うための打合せスペースの設置を検討する。 - 選挙、確定申告、各種申請受付など多目的に活用できる会議室（ホール等）を整備し、更に、町民の文化活動等にも活用できるような多目的な空間の整備を検討する。   打ち合わせスペース（半田市） ミーティングスペース（町田市）
③ 情報機能	災害や将来の情報化へ対応した設備とする。	- 災害時において、機能損失を回避するため、情報関係機器は中層階以上に配置し、耐震性を高める。 - 執務室等の床は、OA機器の自由なレイアウト変更に対応できるように計画する。

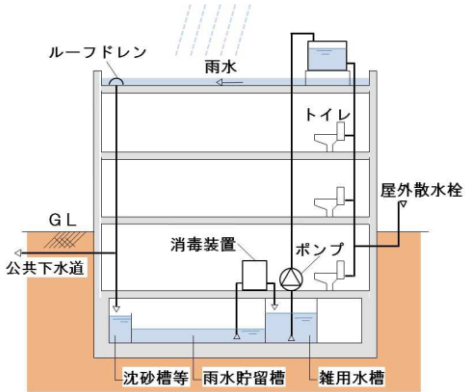
導入する機能	整備方針	具体的な導入機能（導入イメージ）
④防犯機能	個人情報や重要な書類の徹底した管理、執務エリアと交流エリアとのセキュリティの強化を図る。	- 重要な書類や電子データ等、町民のプライバシーに関する個人情報について、庁舎外も含めて適切な保管場所の検討を行い徹底した管理が可能な計画とする。 - 来庁者が自由に出入できるエリアと職員のみが立ち入るエリアの区分を徹底し、用途に合わせたセキュリティレベルの設定を検討する。 - 時間外や閉庁日のセキュリティの強化について検討する。  ゾーン(1) 監視カメラで監視し、セキュリティゲートで不審者の侵入を防止します。 ゾーン(2) 受付エリアを設け、動線を一時遮断。外来者との打合はミーティングエリアで行います。 ゾーン(3) 外部からの侵入対策と同時に、内部からの情報漏洩対策が大切です。 セキュリティ収納システムの導入の他、機密室などは入退室管理システムと連動させたハイセキュリティ空間を構築出来ます。 オフィスセキュリティのイメージ (オカムラ製作所 HP)

④ 議会機能

導入する機能	整備方針	具体的な導入機能（導入イメージ）
①議会機能 (議場、委員会室等)	議会機能が十分に発揮でき、傍聴しやすく、開かれた空間とする。	- 議会機能を十分に発揮するため、議場、委員会室、議員控室、図書室などを設置するが、議会開催以外でも災害対策本部会議など多目的に利用できる空間を整備し、議場の床のフラット化、他諸室を議会機能以外でも多目的に活用できる方法を検討する。 - 議場は、町民の接しやすさや親しみやすさを考慮し、誰もが利用しやすい構造を検討する。 - 議会の円滑な運営を行うため、議場と議会事務局の配置は近接するように検討する。  設楽町役場議場（設楽町）

⑤ 防災機能

導入する機能	整備方針	具体的な導入機能（導入イメージ）
①耐震性の確保	耐震性の確保などにより、災害に強い庁舎を実現する。	- 国土交通省が定めた「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」による耐震安全性については、構造体はⅠ類、建築非構造部材はA類、建築設備は甲類の耐震性能の確保を検討する。 - 免震・制震・耐震構造の選択については、コストや工事期間等を総合的に検討し、適切な構造形式とする。  耐震構造 ○建物自体を堅固にすることで、地震の揺れに耐える。 ○激しく揺れ、壁や家具などが損傷しやすい。 制震構造 ○建物に制震装置（ダンパー）を組み込んで、地震エネルギーを吸収することで、地震の揺れを低減する。 ○揺れは低減されるが、什器・家具などの破損の恐れはある。 免震構造 ○建物と地盤の間に免震装置を設置し、建物を地面から切り離すことにより、地震の揺れを建物に伝わらないようにする。 ○建物がゆっくり揺れるので、ひび割れなどの損傷が少なく、室内の家具も転倒しにくい。 - 豪雨による浸水被害の想定を行い、十分な対策を行うこととする。
②災害対策機能	災害発生時の活動の拠点となる機能を整備する。	- 災害発生時には、災害対策本部室として利用できる設備等（電源設備・情報通信・電話回線・大型モニター等）を備えた空間を整備する。 - 食料や飲料水の備蓄、災害物資の搬入・保管が可能なスペースを確保する。 - 災害発生時に24時間体制で従事する職員のため仮眠室等の職員専用スペースを想定した会議室等の配置を行う。 - 大災害時の一時避難所としても利用できるように、諸室の配置計画を行う。   災害対策本部室（紀ノ川市） 災害対策室ホワイトボード（半田市） - 防災及び消防団の拠点となる施設の集約化を検討する。

導入する機能	整備方針	具体的な導入機能（導入イメージ）
③庁舎維持機能	災害発生時にも庁舎機能が維持できるよう必要な機能を整備する。	・商用電力が途絶えた場合に備え、一定期間連続運転が可能な自家発電設備を設けるとともに、太陽光発電等による非常時の補助電源対応についても検討する。 ・上水道の供給が途絶えた場合に備え、井戸水利用や貯水槽など非常用の飲料水を確保できる機能を検討するなど、通常の業務や災害支援活動が維持できる機能を検討する。  太陽光発電システム (立川市)  雨水利用施設のイメージ (国土交通省)

⑥ その他の機能

導入する機能	整備方針	具体的な導入機能（導入イメージ）
①環境対策機能	ライフサイクルコストを考慮した自然エネルギーの利用を検討し、環境負荷低減に配慮する。	・ 自然環境負荷低減・省エネルギー化のため自然採光・自然換気・太陽光発電のほか、雨水利用などの自然エネルギーの費用対効果を検討したうえで積極的に利用する。 ・ 空調、照明、便器等の設備機器は、省エネ型や節水型を積極的に導入し環境負荷低減に配慮する。 ・ 庁舎に電気自動車を導入する場合には、来庁者が利用できる充電スペース等の設置を検討する。   電気自動車充電スペースの設置（甲府市HP） 電気自動車優先駐車場の設置（つくば市HP）
②町民利便機能	来庁者の利便性が向上するような機能を検討する。	・ 来庁者の利便性が向上するような銀行ATM、売店、コンビニエンスストア、自動販売機コーナーについては、周辺の状況を考慮しながら検討する。 ・ 来庁者が利用できる休憩スペース等の設置を検討する。 ・ 閉庁日や休日でも利用可能なトイレの配置等を検討する。   来庁舎が憩えるスペース（甲府市HP） 2階中庭にある休憩スペース（甲府市HP）
③健康機能	健康意識を向上させるような機能を検討する。	・ 来庁舎が気軽に血圧、血管年齢、脳年齢など測定できる健康チェックコーナーの設置を検討する。 ・ 来庁者及び職員の受動喫煙の防止対策を徹底して行い、喫煙場所を設ける場合には望まない受動喫煙をなくすためにソフト面・ハード面ともに必要な措置が取られた場所とする。  健康度見える化コーナー（大和市HP）

導入する機能	整備方針	具体的な導入機能（導入イメージ）
④庁舎としてふさわしいデザイン	庁舎が長く親しまれるためのデザイン上の配慮を行う。	・外観は庁舎として華美なデザインではなく、周辺環境に配慮した機能美が現れるデザインとする。 ・内観は機能性や快適性に配慮した親しみやすいデザインを検討する。  自然素材を多く取入れた庁舎 (小林市H P)
⑤駐車場・駐輪場の機能	来庁者、公用車の駐車場・駐輪場を適切に計画する。	・歩道、車道の区分を明確にし、歩行者の安全を考えた駐車場・駐輪場を適正な台数を設置する。 ・入口近くに身体障がい者用の駐車スペースを適切な台数分設置する。 ・屋根付きで屋外作業が可能な駐車スペースの設置を検討する。
⑥維持管理機能	メンテナンスや将来の更新を見据えた計画を行う。	・耐久性に優れた構造体や部材を採用することで長期間使える庁舎とする。 ・清掃やメンテナンスを容易に行うことができ、将来の修繕及び更新が迅速かつ経済的に行えるよう配慮する。